

**COP30直前
IGES ウェビナー**

**IGES の気候変動・SDGsにおける
ファイナンスとビジネスにおける取組**

2025年10月23日

**持続可能なファイナンスとビジネス・タスクフォース
プログラムディレクター
森 尚樹**

COP30 におけるブラジルの ビジョンとアクション・アジェンダ

メッセージ:

交渉から実施へ

すべてのアクターが行動しなければならない。誰も受け身であってはならない。

ファイナンスとビジネスに関するアクション・アジェンダ :

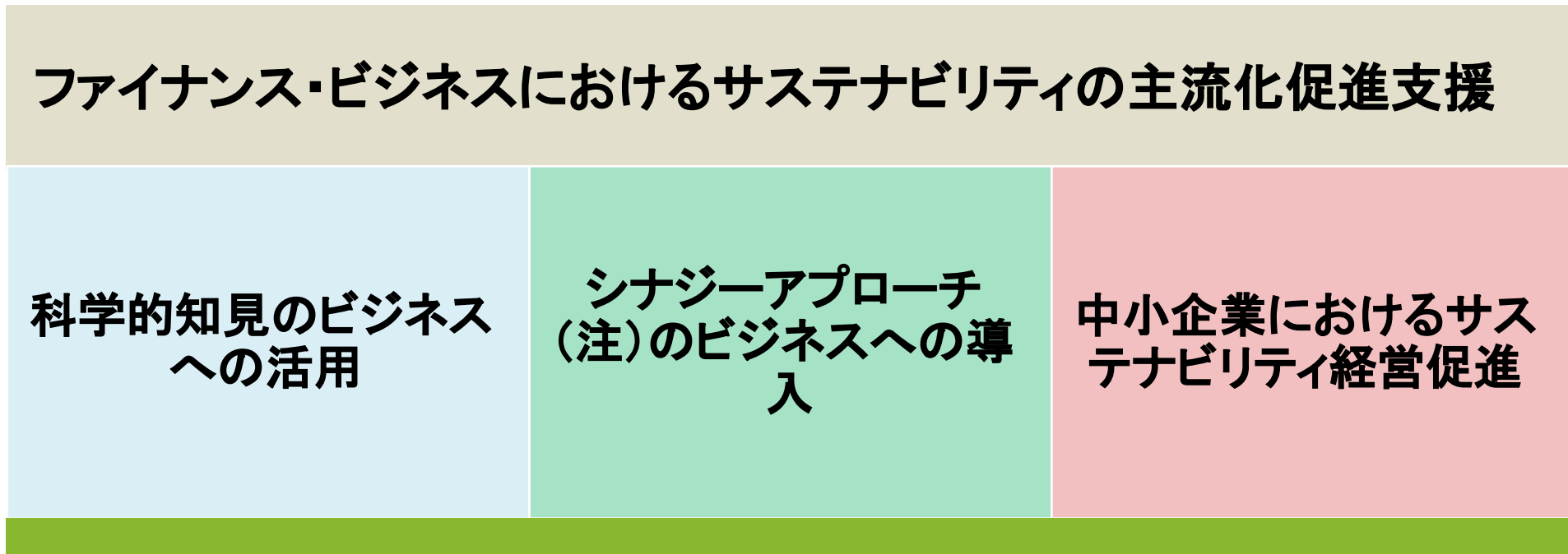
20番: 気候およびサステナブルファイナンス、気候を投資や保険に主流化

22番: カーボン市場の調和化とカーボン会計の標準化

25番: 気候技術の開発、アクセス

28番: 気候対策に関するイノベーション、起業、中小ビジネス、等

IGESの気候およびSDGsにおけるファイナンス・ビジネスに関する取り組み (2025年度～2029年度)



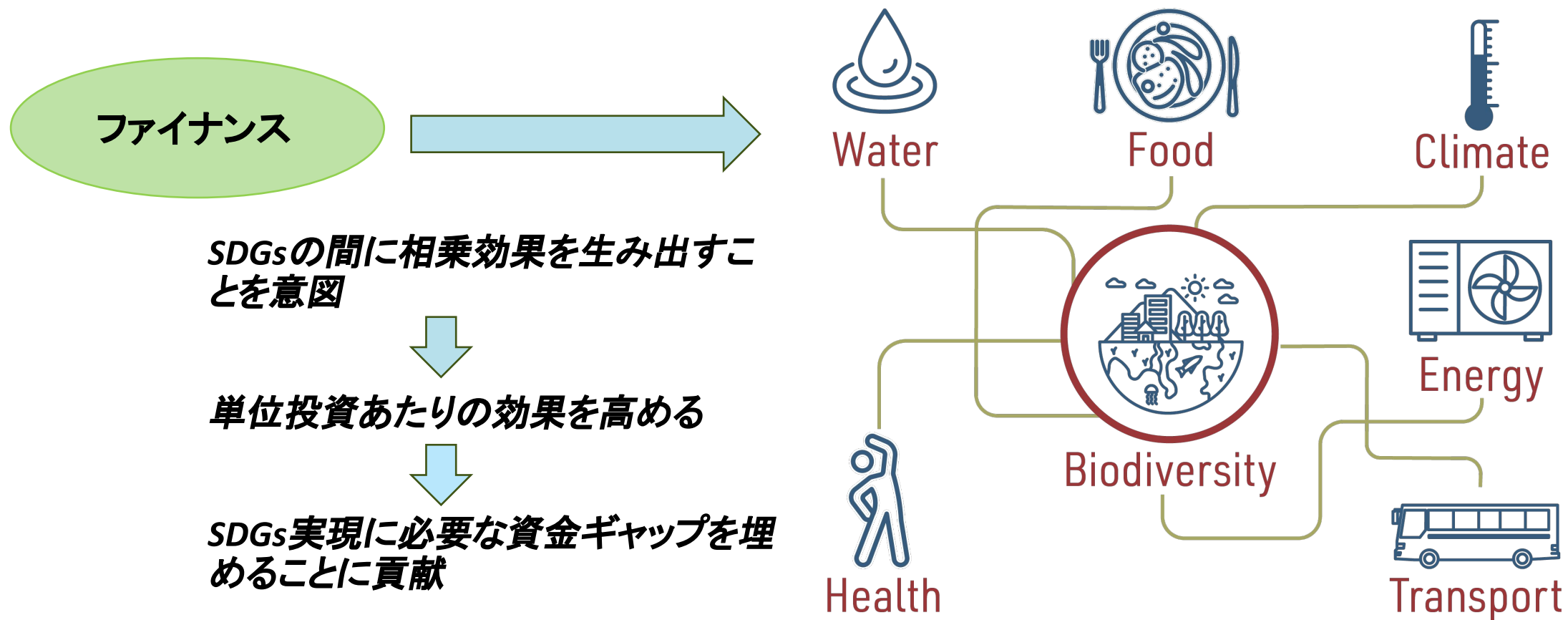
(注)シナジーアプローチとは、気候変動とSDGsに関連する政策を、別々にではなく同時に取り組むべく設計・実施する手法であり、両政策の総合的な効果を高め相乗効果をもたらす。

IGESのファイナンス・ビジネスに焦点を当てた調査活動

IGES 調査活動(事例)	
ネットゼロへの移行	-IGES 1.5°C ロードマップ -日本におけるグリーン、トランジションファイナンスのインパクト調査 -太陽光発電と農業のシナジー創出
生物多様性	-企業における生物多様性のリスクと機会に関する情報開示等の経年調査
循環経済	-日本における循環経済に関する官民対話パートナーシップ -企業における循環経済に関する目標設定、指標導入等の枠組み調査
持続可能なサプライチェーン	-持続可能なコーヒー、カカオ生産に関する調査 -持続可能なバリューチェーン確保のためのガイダンス
グリーン、カーボン市場開発	-パリ協定第6条市場メカニズムの実施促進 -1.5°C ライフスタイル
中小企業におけるサステナビリティ経営	-北九州市における中小企業を対象としたサステナビリティ認証制度、GX ビジネススクール

シナジーを促進するファイナンスのためのアプローチ

～気候変動、生物多様性及びその他の SDGsにおいて相乗効果をもたらすファイナンスメカニズムを拡大し、多面的な成果を達成～



シナジーを促進する可能性のあるファイナンスメカニズム(例)

1. 公的ファイナンス

- 国家が発行するグリーンボンド
- 国家債務軽減と自然保護のとスワップ
- 気候予算のトラッキングシステム
- 化石燃料補助金の見直しと再配分、等

2. 民間ファイナンス

- グリーン、サステナビリティを目的としたボンド、ローン
- 問題解決を重視するインパクト投資
- カーボンクレジット、生物多様性クレジット、等

3. ブレンディッドファイナンス

- 譲許的融資、保証・保険等リスク対応ファシリティ
- 成果発現後のプレミアム
- クリーンエネルギー転換のための官民ファイナンスパートナーシップ、等

事例:

フィジー 気候行動強化のためのファイナンスの組み合わせ

1. 国家発行グリーンボンド:

気候適応策、再生可能エネルギー等を資金使途としたグリーンボンドの発行

2. 災害対応へのファイナンス:

(1) 災害後の緊急対応のための資金融資ファシリティ(スマホ決済システムの活用)

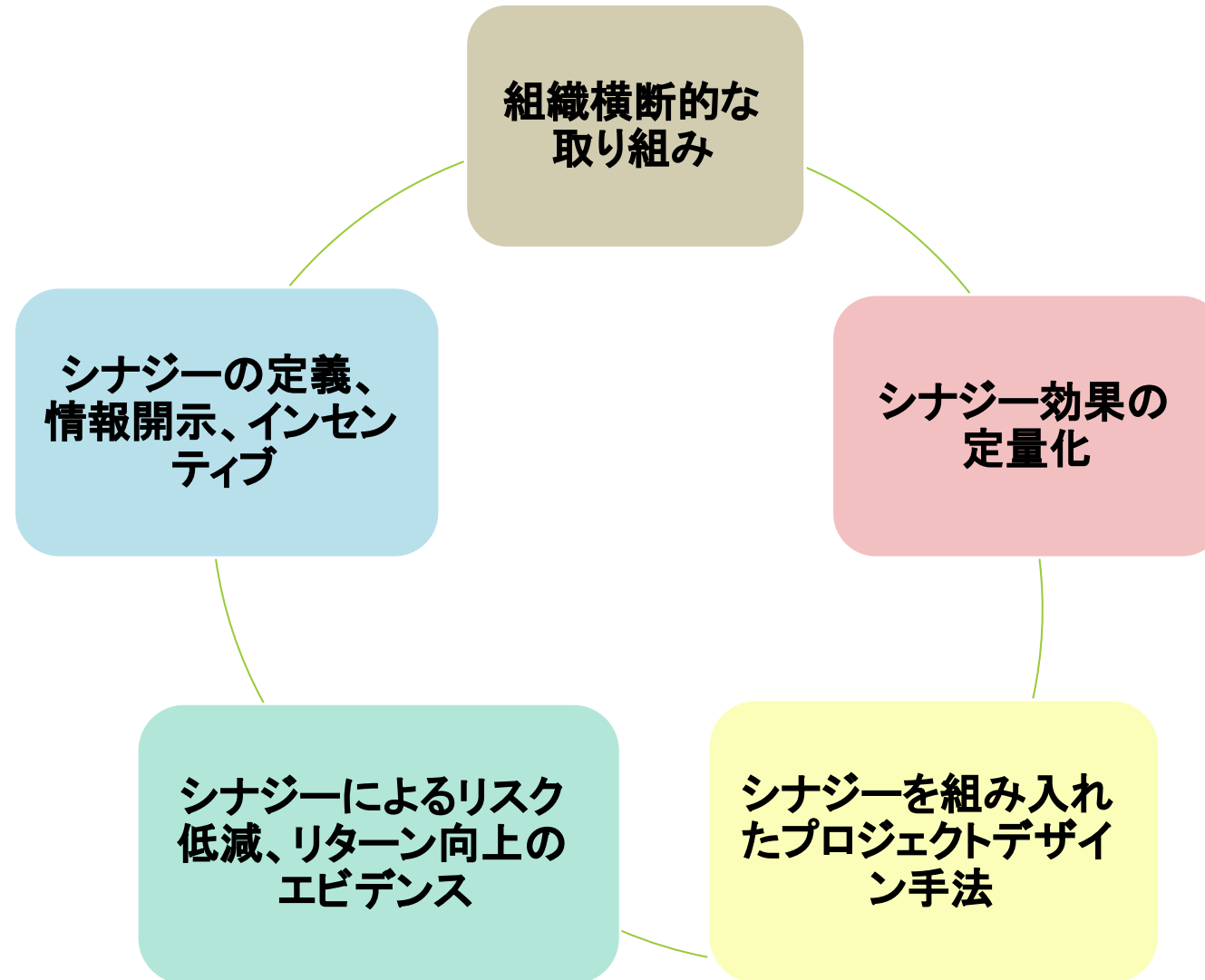
(2) 国家退職金積立制度における災害被害対策資金の特別引き出し権

3. 商業銀行における再生可能エネルギー向け融資の義務化(預金額の 2%)

シナジー効果:

- ・災害被害への迅速対応
- ・再生可能エネルギーの拡大
- ・金融アクセスの向上
- ・災害に対する経済的耐久性の強化
- ・国内資本市場の開発、等

シナジーを促進のためのファイナンスの課題



まとめ

シナジーを促進するファイナンスアプローチは、ブラジルのアクション・アジェンダにおいて重視されている気候およびサステナブルファイナンス拡大に貢献することが期待される。

1. 気候変動対策だけでなく、他の SDGsにおいても資金ギャップを同時に埋める。
2. 省庁間の連携・協力を強化し、気候変動対策を含め SDGs達成に向けてより効果的に資金動員を推進する。
3. シナジーアプローチは開発成果を高めることに寄与することから、開発パートナーを惹きつけ、民間資本の動員を促進するブレンディッドファイナンスを推進する。
4. ESG投資家や金融関係者は、シナジーアプローチを取り入れることで、リターンとともにより大きなインパクトを追求できる可能性がある。